

カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2019年4月6日～2019年4月12日の推移】

【1】先週の回顧

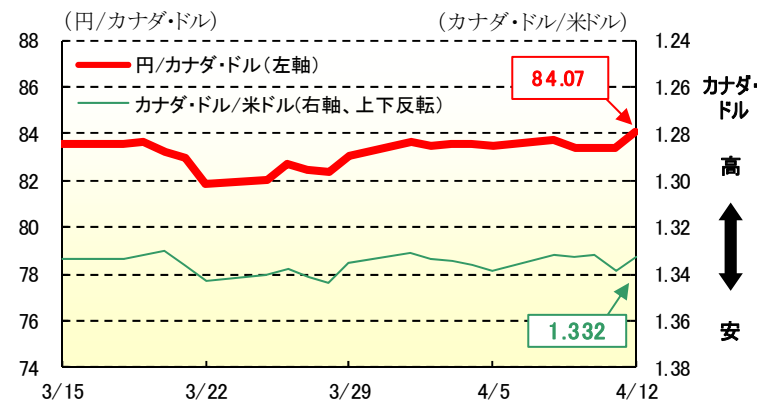
先週のカナダ・ドルは、対円で上昇しました。また、カナダ5年国債利回りは上昇しました。

週前半は米国のコアCPI(消費者物価指数)が予想を下回ったことから米債利回りの低下圧力が強まったため、カナダの金利は低下し、カナダ・ドルも下落しました。週後半は、良好な企業決算を受け米株高が進行したことを背景に金利、通貨ともに上昇しました。原油価格が上昇したことも相場を後押ししました。

経済指標では住宅関連指標が複数発表になっており、予想を下回る結果になったものが散見されましたが、市場への影響は限定的でした。

【カナダ・ドル 為替推移】

(2019年3月15日～2019年4月12日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

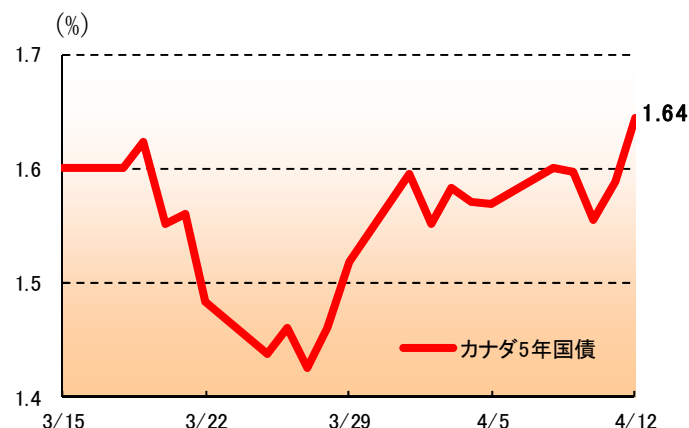
【2】今週の見通し

今週、カナダでは小売売上高、CPIの発表が予定されています。小売売上高に関しては、足元、前月比でマイナスが続いていますが今回に関しては前月比でプラスになることが予想されています。CPIに関しても前回から上昇することが見込まれています。

足元では先進国各国の金融緩和の強まりを好感して株式市場は底堅く推移しており、カナダの通貨、金利を下支えています。一方、今週から本格的な決算発表シーズンに突入し、その結果に株式市場が振られることが想定されるため、決算結果に注目が集まります。

【カナダ 金利推移】

(2019年3月15日～2019年4月12日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>